

キンメダイとサンマの恋

作詞 石塚さえ
作曲 高島 賢

♩ = 90

つれ て に げ て よ と お く ま で - い き た い の - あ た た

5

か い - み な み の う み で - な み の り が - し た い わ - -

オレ

9

は - あ た た か い う み - じ ゃ - い き ら れ - - - な い の さ オホ -

13

ツ ク - の - う み は ど う だ い - り ゆ う ひ よ う も - わ る く な い ぜ - -

17 E^b C_m A^b B^b7

いやよそんな さむいところ こおりのうみなんかじゃ いきられ ない わ — — ても

21 C_m G_m A^b G_m A^b B^b7 G7

ふくしま あたりでうろう ろ したら だれ にもみむきされなくなる わ

25 C_m G_m A^b G_m A^b B^b7

みむきされない の はおれ だっておなじさ ても ひとやま いくらのお れ だって

29 E^b G_m A^b B^b7 E^b G7

「なんですって？あたしなけじゃないのね、この浮気もの～」
↓

あんたが いなく ちゃ — あきが — こな いってゆうやつはいるの さ — ころ

34 E^b C_m A^b E^b

は とりあ えず — きたの うみ — へ — ゆこう ぜ ころ

38 Cm Gm A^b B^b7

あんた

トリチウムまみれよりは — ま し — — だろ う

42 E^b Cm A^b E^b

なんか — こおり のうみで — ニシン とでも くらせば いいわ — あたし

46 Cm Gm A^b E^b

は みなみの うみで — こうきゅ う マグロ とくらす わ

50 E^b Cm Fm B^b7

あああ — おたが い じゅうまんねん いきて いたら — また この うみで —

あああ — おたが い じゅうまんねん いきて いたら — また この うみで —

54 E^b Cm Fm E^b

あああ — おたが い じゅうまんねん いきて いたら — また あいま しょう —

あああ — おたが い じゅうまんねん いきて いたら — また あおうぜ

58

F^m G^m A^bm rit..... E^b

じゃあねー じゃあねー ごきげん よう

あばよー あばよー たっ しゃで な

(キンメダイ)

連れて逃げてよ 遠くまで行きたいの
あたたかい南の海で 波乗りがしたいわ

(サンマ)

俺は暖かい海じゃ 生きられないのさ
オホーツクの海はどうだい 流氷も悪くないぜ

(キンメダイ)

イヤよそんな寒いところ氷の海なんかじゃ 生きられないわ
福島あたりでうろろうしてたら 誰にも見向きされなくなるわ

(サンマ)

見向き去れないのは俺だって同じさ でも一山いくらの俺だって
あんたがいなくちゃ秋が来ないっていうやつはいるのさ

(キンメダイ・セリフ)

「何ですって？あたしだけじゃないのね、この浮気者——！」

(サンマ)

ここはとりあえず北の海へいこうぜ
ここでトリチウムまみれよりはましだろう

(キンメダイ)

あんたなんか氷の海で ニシンとでも暮らせばいいわ
あたしは南の海で 高級マグロと暮らすわ

(サンマ・キンメダイ)

ああーお互い十万年生きていたら またこの海で
ああーお互い十万年生きていたら またあいまじょう(あおうぜ)
じゃあね(あばよー) じゃあね(あばよー)
ごきげんよう(達者でなー)

創作講習会で話題になった詩「キンメダイとサンマの恋」にチャレンジしました。創る前から頭の中がすでに演歌、しょうがないよなあ。掛け合いの詩をそれぞれ8小節にはめるのに苦労しました。でもエンディングは手拍子しながらスラスラとできてきましたよ。創るのが楽しいと感じるひとときでした。〈2021.5.24 高島〉